

令和5年度 学校評価報告書

学校教育目標		夢や目標に向かって一生懸命努力する、人間性豊かな倉永っ子の育成			重点目標	読書に親しみ、主体的に学び合う子どもの育成		
評価計画				自己評価		学校関係者評価		改善計画
重点目標	目標達成のための方策(取組指標)	成果指標	評価	結果(成果○と課題△)	評価	コメント	次年度における改善策(案)	
重 標 に 関 す る 価	○確かな学力の育成	○自分の考えをつくり交流を通して学び合う授業の実施 ・自分の考えを書く活動の設定 ・自分の考えを友達と交流する時間の確保 ・授業の振り返りを自分の言葉で表現する場の設定 ○倉永タイムの活用による基礎・基本の力の定着 ○学習規律を整えるための「学習ルール10か条」の振り返りの実施	・自分の考えを書く(学期末児童・教師アンケート) 90% ・自分の考えを交流する(学期末児童・教師アンケート) 80% ・授業終了後の振り返りを書けている児童80%(ノート記述) ・国語と算数の市販テスト80点以上70% ・学校テストの1回目合格者が80%以上 ・「学習ルール10か条」でのめざす子どもの姿の合計が80点以上が80%以上	3 4 3 3 3 4	○授業において必ず自分の考えを書く活動と振り返りの時間を設定したことで、多くの児童が自分の考えをまとめることができた。 ○学力向上部会で学校テストの取組について共通理解し、練習問題でのやり直しを徹底したことで1回目合格者の数を大幅に増やすことができた。	A A A A A A	○学校の評価は適切である。 ○書く活動では、子どもたちの真剣な取組と努力が見られ、また、先生方のご苦勞も感じた。大変素晴らしかった。 ○個々の差があるのは当たり前ではあるが、その中でも日頃の指導の成果が十分見られると感じた。	○各教科で、書く活動の大切さを個人思考の場や振り返り活動を通して認識させ、その後小集団や学級集団で交流することにより、内容の理解の深まりに繋げていく。 ○学校テストの結果分析を確実にを行うとともに、復習を中心とした家庭学習の取り組み方について保護者と共通理解を図り、確実に実践していく。
	○豊かな心の育成	○読書活動の充実 ・朝の10分間読書タイムの実施 ・推薦図書の実施(読書の木への取組) ○特別活動における主体的・対話的で深い学びの充実 ・話し合い活動の自主的運営 ○道徳の時間の充実 ・振り返りで自分を見つめる時間の確保	・10分間読書の確実な実施(学期末児童・教師アンケート) 90% ・推薦図書20冊/30冊達成80%(学期末児童・教師アンケート) ・学級会で自他の考えを尊重した話し合い活動80%以上(学期末児童アンケート) ・話し合い活動の充実3.0以上(学期末教師アンケート) ・「道徳の学習で自分を振り返る」80%以上(学期末児童アンケート)	4 2 3 2 3	○10分間読書や道徳の学習の振り返り活動を積極的に進める学級が増えてきた。 △推薦図書20冊/30冊達成80%については、高学年が課題である。 △学級会での自他の考えを尊重した話し合い活動においては、学級間の差がある。格差が出ないように進めていくか課題である。	A A A A A	○学校の評価は適切である。 ○図書に関する学習指導では、今後も「図書館教育の倉永」を続けていって欲しい。本と紙のふれあいを今後も大切にしていって欲しい。 ○高学年になると、図書を借りてきても、読まずにそのまま返却する子どもも多いのではないかと思う。	○高学年の児童がより読書に関心をもつことができるように、各クラスで読んだ本の面白かったところを紹介する活動を設定したり、借りた本の冊数のグラフを掲示したりするなど、可視化していく。 ○学級会の進め方などのマニュアルを作成し、全クラスで取り組んでいく。また、自分の意見や他者の意見を尊重することの大切さを指導する。
	○健やかな体の育成	○体育学習の充実 ・めあてと場づくりの工夫 ○運動の日常化を図る ・1日15分以上の運動(外遊び)の実施 ○給食量等の自己決定	・体育の時間の運動量60%の確保3.5以上(教師アンケート) ・外遊びの奨励「15分以上の運動」3.0以上(教師アンケート) ・運動が好きな児童90%以上(児童アンケート) ・児童の食に関する意識の向上90%以上(学期末児童アンケート)	3 2 4 3	○体育の時間の運動量を増やすことで運動が好きな児童は9割を超すことができた。 ○児童の食に関する意識も9割を超すことができた。残食もほとんどない。 △外遊びの奨励「15分以上の運動」が今後の課題である。	A A A A	○学校の評価は適切である。 ○大谷翔平選手のグローブを持たせてキャッチボールをするなど、1つのきっかけがあれば、休み時間に外遊びをすることに興味を持つのではないかと感じた。	○全職員で共通理解した上で、今後も外遊びの奨励を行っていく。また、体育委員会による外遊びの紹介も行っていく。 ○「体育の学習は好きだけど、外遊びを好まない」原因の把握と方策を模索していく。
い じ め 防 止	○いじめの未然防止 早期発見	○学校生活アンケート、教師のチェックリストの実施(毎月1回) ○家庭との連携 ・早期発見シートの配布(6月、10月、2月) ○いじめに特化した職員研修 ・いじめに関する校内研修会(学期1回) ・いじめに関する授業公開	・アンケート実施後の確実な教育相談の実施100% ・早期発見シートの記述による保護者への聞き取り100% ・認知したいじめの解消100% ・いじめに特化した内容項目(思いやり、生命尊重)の道徳学習の授業公開	4 4 4 4	○毎月のアンケート実施とその後の教育相談を確実にを行い、管理職による見取りを徹底した。 ○毎月の生徒指導全体会で、各学級の気になる児童の様子を全体で共有し、全職員で児童を育てるという意識の向上を図った。	A A A	○学校の評価は適切である。 ○倉永小学校は、子ども同士のいじめなども比較的少ないと感じる。また、子どもの様子を先生方がこまめに観察されていると感じた。	○今後も毎月の学校生活アンケートとその後の教育相談を確実に実施し、いじめの未然防止と早期発見に努めていく。 ○保護者アンケートを基にして、保護者との共通理解と連携を今後も深めていく。
不 登 防 止	○不登校児童の減少	○未然防止の取組 ・福岡アクション3の確実な実施 ○早期発見・早期対応の取組 ・マンツーマン対応の共有(月1回の校内研修)	・福岡アクション3の実施3.0以上(学期末職員アンケート) ・前年度比における不登校児童数の減少 ・「学校はとても楽しい」90%以上(学期末児童アンケート)	3 3 3	○「学校は楽しい」と答えた児童は、8割を超えている。 △未然防止の取組は行われているが、不登校児童を減少させるために、今後も家庭と連携して対応していく。	A A	○学校の評価は適切である。 ○「学校が楽しい」と答えた子が80%以上というのは素晴らしいと思う。	○夏休み期間中に、甘木中学校区の小中学校で、今後もスクールカウンセラーを講師として招聘し、良好な対人関係を目指す教職員の研修会を行う。
働 き 方	○長時間勤務の改善	○個人の目標退勤時刻と週1回の定時退校日の設定 ○水曜日午後の放課後の時間の確保	・時間外勤務月80時間以上を1人以下 ・水曜日午後の時間を確保して、職員会議や2部会などを行う。	3 4	○時間外勤務月80時間以上を1人以下は達成することができた。1学期に比べ早く退勤する職員が増えた。	A A	○学校の評価は適切である。 ○人材不足等の問題もあって、なかなか難しいかと思う。先生方の健康面を心配している。	○現在の業務内容の洗い出しを行うとともに、無駄と思われる業務の簡素化を目指していく。

◇ 評価について
 ・【自己評価】 4：目標達成(90%以上) 3：ほぼ達成(70%~90%) 2：もう少し(60%~70%) 1：できていない(60%未満)
 ・【学校関係者評価】 A：自己評価は適切である B：自己評価は上方修正すべきである C：自己評価は下方修正すべきである